

## 第3回融合委員会の目的：「未来像，重点戦略の検討」

## 成果の概要

第2回融合委員会の議論を踏まえ作成された未来像（案）に基づき，主に未来像の表現や内容，未来像相互間の関連性について検討されました。

未来像の考え方について多様な意見が出され，議論の結果，それぞれの未来像が相互に関連していることが確認されました。

未来像の相互間の関連性（詳細は別添報告資料2参照）



重点戦略については，宗田委員長，平井副委員長と事務局で作成した，たたき台が提示されました。

今後，本日の結果を基に，共汗部会においても意見をいただき，市民一人ひとりに具体的なイメージを持っていただけるよう未来像，重点戦略の内容を磨き上げることとなりました。

その上で，4月に開催予定の第4回融合委員会において，第1次案が検討される予定です。

## 実施概要

日時 平成22年2月2日（火）午後3時から午後5時まで  
 場所 京都商工会議所（3階役員室）  
 参加者 立石副会長，浅岡副会長，宗田融合委員会委員長，平井融合委員会副委員長（11名）  
 乾委員（うるおい部会部会長），梶田委員（うるおい部会副部会長）  
 堀場委員（活性化部会部会長），秋月委員（活性化部会副部会長）  
 森委員（すこやか部会部会長），塚口委員（まちづくり部会部会長）  
 松山委員（未来の担い手・若者会議U35議長）  
 （市の参加者） 由木副市長，西村総合企画局長，柴山政策企画室長，大田京都創生推進部長

## 当日のプロセス

## 開会

本日の議事の説明  
 尾池会長，加藤委員から事前に出された意見の紹介

## 議事1

未来像及び重点戦略の検討

5つの未来像（案），重点戦略（たたき台）について検討

① 第2回融合委員会で検討された未来像を基に作成された未来像（案）を提示

② 未来像の検討  
 主な意見

③ 重点戦略（たたき台）を提示

今後，融合委員及び共汗部会の各委員に意見をいただきながら，第1次案を作成していく。

## 議事2

分野別方針について

分野別方針のアウトプットイメージについて共有



宗田委員長から「未来像の表現や内容，未来像相互間の関連性について議論を深めてほしい」と説明



乾委員から「協力社会と市民参加を別の次元のものとしてとらえるべき」と提案



堀場委員から「京都型経済とは，歴史・文化のバックグラウンド，例えば物を大事にするといった価値観の下で，新たな産業を生み出すということ」と発言



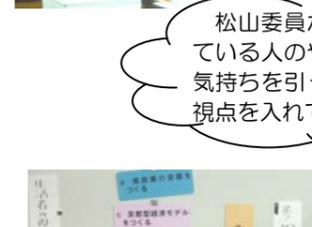
平井副委員長から「京都が持つ価値観や知恵で，低炭素社会や新たな経済モデルなど，先進的なモデルを作っていくのはどうか」と発言



立石副会長から「都市の未来像を考えると，生活者である市民が働きやすい，暮らしやすい，住みやすい，育てやすい，弱者に優しい社会を実現することが結論ではないか。」、「一歩先じた未来像を示すことが京都らしさにつながる」と発言



森委員から「人口減少という大前提を想定したうえで，人口を維持する，減少の速度を落とすといった前向きな議論が必要」と発言



松山委員から「実際に携わっている人のやってみたいという気持ちを引っ張り上げるような視点を入れてはどうか」と発言



浅岡副会長から「未来像の表現や重点戦略は，各委員が関わる分野もあるので，言葉を直す時間をいただきたい。共汗部会でも意見を求めている」と提案